OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	大阪大学低温センターだより No.64 裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪大学低温センターだより. 1988, 64
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/21600
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

〈 編 集 後 記 〉

今年は短い夏が駆け足で過ぎ去り、この号がお手元に届く頃はすっかり秋も深まっていることと思います。はじめに私事を述べて誠に恐縮ですが、この5月に低温センター吹田分室の助手に就任して、あれよあれよという間に数カ月が過ぎ去ってしまいました。前号よりこの低温センターだよりの編集委員にも加えていただき、皆様がたの仲間入りをできたことを嬉しく思っています。

さて、今回はじめて編集作業を手伝わせていただきましたが、その本号も盛りだくさんの内容になりました。メスバウワー効果の測定のスピングラスへの適用、隕石の形成機構、多孔質シリコン結晶の作製、スピン間の有効交換積分の計算、そして、極低温下で用いるためのスペーサの話など各方面の話題が満載されています。

ところで、植田先生の隕石のお話ではありませんが、今年は今世紀最後の火星大接近の年です。その最接近の日が9月22日と秋に当たったこともあり、澄みきった夜空を見ながら物思いにふけるのには絶好の機会です。『火星にはやはり火星人が住んでいて、大接近の日に宇宙船に乗って地球に飛来してきたが大気圏に突入した頃、トラブルが発生して墜落した。調査してみると、推進動力用の高温超伝導体で作られたエネルギー貯蔵が大気圏突入の熱でクェンチして爆発していた……』無数の星を眺めているとついついこんな珍事を想像してしまいました。

（三谷康範）

大阪大学低温センターだより　第６４号

昭和６３年10月　発行

編集責任者　櫛　田　孝　司

発　行　者　大阪大学低温センター

吹田分室　大阪府吹田市山田丘２番１号

電話（06）877－5111　内線4105

豊中分室　大阪府豊中市待兼山町１番１号

電話（06）844－1151　内線2162

印　刷　所　阪東印刷紙器工業所

大阪市福島区玉川３丁目６番４号

電話（06）443－0936（代表）

目　　次

No. 64

研究ノート

① メスバウワー効果とスピングラス ……理　学　部　國富　信彦 …… 1

② 同位体比測定に基づく隕石の成因について ……教　養　部　植田　千秋 …… 5

③ 陽極化成法による多孔質シリコン結晶 ……工　学　部　伊藤　利道 ……10
加藤　剛久　平木　昭夫

④ スピン間有効交換積分(J_{ab})の量子化学計算 …基礎工学部　山口　兆 ……14
笛野　高之

実験メモ

⑤ 極低温スペーサ ……産業科学研究所　西嶋　茂宏 ……20
岡田　東一

表紙説明 ： 隕石中における各鉱物組織のMg同位体比の測定値。図は地上標準値に対する各鉱物の変動値が表わされている。地上鉱物の値が質量分別線（実線）近傍に分布するのに対し、隕石中の鉱物は^{24}Mg過剰方向にのびた直線上(Line A)に配列する。（　）内は再現実験から推定された各鉱物の形成時の冷却速度で、^{24}Mg過剰度との間に正の相関をもつ（本文7ページ参照）